

法友集う

各地で集会を計画



発行所
曹洞宗青年会
〒105 東京都港区
2-5-2 曹洞宗本願寺内
発行責任者 吉岡純也
TEL:03-454-54110

青年宗侶のエネルギーを結集しよう
社会的価値ある活動をしよう
青年宗侶の自覚を促そう
地域における活動の連携を深めよう



(六・一六・一八 九州曹洞宗青年会 福岡 ホテルセントリーにて)

目 次

九州大会(活動報告)……………2
各地の動き……………3
研修の食(一坐・ハンگری)……………4
此寺に和向あり……………5
インタビュー 花園大学先生……………6
全日仏曹の現況を探る……………7
8

宗門は全国に約一万五千の寺院、二万余名の宗侶を擁している。なかでも青年宗侶は八千名に達するといわれ、宗門の中核として活動している。

青年宗侶は、明日の宗門ではなく現実の活動をすでに担っている。宗門の教化活動の第一線は我々が受けてもっているといっても過言ではない。

現実の宗門は如何に我々にはエネルギーイッシュな新興教団等の活動の前に窮々としているかの如く写る。無論、仏教は生活そのものであるから、何ら華やかな面を期待するものではないが、社会的に忘れられた存在になりつつはないか。

青年宗侶の多くはこの現状を可とうしない。否、日々、苦悩する者もいよう。しかし、不思議なことに青年宗侶の現場の声はなかなか届いてこない。

宗門の体質とあきらめているのか！
青年宗侶よ、青年会活動に結集せよ！
青年会で同志を見い出せ！

団体加入となった全曹青の今年の総会には全国から各曹青の代表が胸を張って出席した。

九州大会にも多くの法友が集うようになった。

明日といわず、今日の宗門を担う気概を持とう！

破草鞋

再び師匠弟子のこ
とを聞いてみたい。
自身の弟子育成が思
うに足りない。振りか
筆先をそこに向けさ
せるのであろう。

火で一山悉く烏有に帰し、旬日を待たずして檀徒の非常なもり上りの中で瓦本捧舞きの法堂が出来上ったが寒気極まる地域だけに凍てには弱く、とりかえ、雨もりに僧侶は頭をいためている。絶対大丈夫と云う話であったが、気候的に合わなかったのである。

◎和尚さん、もう何返も何返も寺の屋根の事はかり聞かされる檀家の身にもなつてくれ、其の方がええにしまつとるが、今度銅板でええ職人を探し未代ものを造つてくれ。

◎此の話の中で境内地全体の排水工事を含め総合計画の情報入手につとめた。おどろく程い人物に出会う事が出来た。仏様と入つれと感謝の他なしてある。

◎そのうちの一人が銅板職人である。高校卒業したての頃いやがる自分(職人)を無理矢理葺屋の徒弟に親父は入れてしまった。親に反抗も出来ずはつ見習う事になった。そんな或る日警察官がやって来て路まで来いと云う。警察にお世話になる事は全く身に覚えがない。付きそわれて署に入ったら自分の親父がいる。何のことかますますわからない。

◎お父さん何でこんな所に……

◎よくきいてみると子供を修業に出した見た目の心配で心配でたまらん。勤め先の師匠にも内緒で戸口のかげから、何日となく息子状態を見ていたと云うのである。空果ならいに間違えられ運行されたと判った。経歴書らしいものも送らず国宝古寺の屋根を葺かせて貰える職人になれたのは、此の親父あっての事と云って筆者の前で涙するのである。

禅の集いなど活発

東海曹青

第十回大会は

岐阜で開催を決定

去る六月三十日に連絡協議会(今川耀詮会長)を開催した。今回から新たに静岡第四曹青(桐畑道玄会長)も加わり、総勢七青年となった。また会議出席者も三十名で充実した大会であった。今回は第十回東海大会が検討された。今回の担当は岐阜曹青(岩水龍峰長)で一般対象の「禅を開く会」を併設する。内容は次の通り。

十月十五日(十六日)
岐阜市 サニヒア岐阜
内容 講演(十五日)

「曹青に望む」
宗務庁 総務部長 小田原利行老師
禅を開く会 十六日
会場 岐阜文化センター
居 社 院 東 堂 裁松大成老師

国立博物館東洋考古学室室長 杉山二郎先生
静岡第三曹青(同宗会) (今川耀詮会長)

昨年の東海大会は全曹青の禅の集いの研究を併修し大成功となったが、若い会員にあたたか影響は大きく、団結力も厚くなった。七月二十八日、二十九日には「S」と禅の集いを開催する。

第十一回東海大会
準備の後、十一時、白象行進、十二時、会場開門とす。一時より准仏会法要を厳修。二時半より、群馬馬場徳寺酒井大悟師に「釈尊 代記」の講演を頂いた。「驚くべき驚くべき」の話は、大要示唆に富んだもので、心の師とはなれ、心を師とせよと啓示された先哲の語と同様、我々青年宗侶の指標として、大いに心ならずもなる事柄であらう。ともあれ釈尊の降誕を皆で御祝いし、抹茶煎茶の供養を受け、釈尊の一流を聞き、坐禅をするの集い。(流れを酌んで、その源を知らんとす。)意義と共に、少しも皆様ににお染み頂けたことと思ふ。



第九回東海大会 第七回禅文化学林は
兼花天に清風来る。四月二日、三日の両日茶どころ遠州にて開催された。
大会初日は、午後四時より磐田グラン
ドホテル平安の間に於いて、開講式を行
小原東海曹青会長、吉岡全曹青会長の挨拶のあと、事務局より日程説明があり、早速第一講として、可睡齋鈴木泰山老師より「禅宗の地方発展」と題し、御講演
頂いた。

講演終了後、会場を天平の間に移して懇親会を催し、地元を宿及び曹青先輩諸師より、祝辞等を賜り、その御示御芳情に、事務局一同法喜の感激ひとしおであった。
二日目は、所を掛川市の生涯学習センターに移し、コンサート機材の搬入、設

近畿曹青

新長に

京都曹青 西野正行師

六月五、六日、連絡協議会後のソフト
ボウル大会を中心として大会を開いた。
協議会では、新会長に京都曹青の西野
正行師を選出し、今後近畿曹青として協

東北曹青

第十一回大会は

青森津軽で開催

対抗綱引き大会も計画
青森曹青(太田宏見会長)

東北曹青(菊池光栄会長の第十一回
大会担当だが、詳細が決り準備に入
った。夏の禅の集いも控えているが、大
会には各県から参加するだけに内容検討
会は毎日開かれている。今回は地の利を
生かして流行の綱引きも計画されている
なお、青森曹青の担当は、二日目に
第十一回東北地方集い

コンサートが終わり、朝の引如く家
路を去って行く人々を見送りつと思ひし
ことと成り立ちたるも動けるも私達の
心よりたどえ、その道徳の道は違ふなり
といふとも、曹青の益々の充実発展し、会
員相互の光榮し、布地行現成の大きな法
助とならんことを

大会の片付けを終え、会所を御願ひし
てあった事務所にもとど、桜花の一日
にして既に飄渺の態であり、ふと「草も
木も仏にもなる」との法のこととあら
はす山桜なる」との歌を思ひだしたとい
った。

「花と思わず実の人となれ 緑の下
の力持ちに徹して来た會員諸兄、さらに
先輩諸兄、諸老宿各位に、沐浴の冠より
衷心より、御礼申し上げる次第です。
最後に、事中に好慶を得ることなく、
各位に大変御迷惑をおかけしたことを、
深く御詫言申し上げ、御礼言いで大会の
御報告させていただきます。多謝合掌

岩手曹青(菊地伯也会長)
七月二十六、二十七日の禅の集いに全
力を注いでいる。今年は奥の正法寺、八
十名を予定している。

秋田曹青(佐々木道耕会長)
昨年に続き「随聞会」を開催する。第
五回になり、会場は昨年と同じ秋田市
宮寺。一般公開講座も好評で市民の関
心高まってきた。

山形第一曹青(細谷邦憲会長)
昭和六十三年に創立二十周年を迎える
ため、記念行事を計画しているとのこと。
歴史が長いだけにOBも全面的協力の態
勢という。

宮城曹青(我妻耕道会長)
第二期 愛の活動キャンペーン
期間 九月二十七日〜七月五日
曹洞宗ボランティア会に協力し昨年に
続き十方着の古着を集め、東南アジア難
民救済として贈る。輸送費等の不足は会
員の托鉢による。また、バザー、チャリ
ティコンサートも十一月に計画している。
この活動に宮城曹青は独自にボランティア
委員を会を設置し対応しているが、い
つもながらの活力には敬意を表さずには
おられない。また、各地の曹青にも協力
をお願いしたい。

北信越曹青
六月三十日に長野で協議会を開催した
今年より新潟曹青が全曹青に団体加入す
るなど、新しい活動が始まる今後が期待
されている。
長野市曹青は 水沢隆光会長
長野第二曹青は 伊藤市光久寺 小林元秀会長

大会を振返って

東海曹洞宗青年会
会長 今川耀詮

片付けの仕事を休んで、ひととき眠いた
大会は、彼ら手塚、うらのお父さんとい
う少し古い古い歌を熱唱していたが、手拍
子あり掛声ありで、正に一座建立の盛り
上りであった。アキヤミをこれウインで
終る一生、肩力を抜き自然に気楽に
生きようと言おうとせつ氏の言に、頷か
れた方も多かったのではなかろうか。

ファックス貸出制度有ります



寺院運営のお手伝い(設備、不動産他)

現代寺院サービス

(現代保険サービス) 大蔵省登録No.052400303
〒160 東京都新宿区高田馬場3-33-5大野ビル2階

電話 03-360-7081代

現在預貯金金利は戦後最低です。

資産運用のお手伝い

- (積立・貯蓄型損保) ビックな満期返金+配当金
- 今、注目の財テク・節税商品(税金面でも安心して)
- 寺院専従者、幼稚園、保育園の従業員への「福利厚生退職金制度」(積立機能) (補償機能) (貸付機能)
- 退職金制度の確立+従業員災害見舞金制度+小口融資制度
- 境内管理の為に施設賠償保険もご利用下さい。
- 境内における参詣者、子供への不慮の事故や物損に対する保証。

さえてはいたのであつたし、お寺からと
び出し、寺以外の会場を使うことにより、

5 部は一任の姿勢をつく、
食を考えるというテーマを十分に

ち着かせる坐禅のことで、
り」というのは「お服がすい」とい

生きたる為には食べるのか
事業・研修委員 天利俊邦

出席を得て三時間にわたり実施されまし
事務局 記

坐・ハングリー『心のゆたかさ学園』のあゆみ

年度	第1回 昭和56年	第2回 昭和57年	第3回 昭和58年	第4回 昭和59年	第5回 昭和60年
開催地	佐渡郡 羽茂町 国民宿舎 こさど	南魚沼郡 塩沢町 筑波大学 石打研修所	東頸城郡 大島町 大島中学校 冬期寄宿舎	小千谷山本 町山本山 市民の家	新潟市秋葉 正法寺
期間	8月26日(内) ～29日(土)	8月21日(土) ～24日(火)	8月21日(日) ～24日(水)	8月22日(内) ～24日(金)	8月22日(内) ～24日(日)
体験学習	・竹細工 ・とうふ づくり ・ぞうり づくり ・みそ工場 見学 ・遊覧船 ・トキの里 見学 ・その他	・じゃがい も堀り ・うどん づくり ・木工細工 ・キャンプ ファイア ・魚沼名刺 めくり ・巻魚場 見学	・炭づくり ・きりたん ぼづくり ・竹細工 ・昔話 ・遠足 ・水族館 見学	・服づくり ・そばづく り ・発電所 見学	・人形づく り ・はんごう 炊はん ・ウォーク ラリー ・お話し ・きまだめ し
児童参加者	120人	116人	122人	114人	68人
会費	15,000円	13,000円	9,000円	8,000円	8,000円
総決算額 (収支セ)	2,281,730円	1,823,400円	1,492,070円	1,254,659円	856,000円
その他 備考	坐禅の時間 が1日3回 食事は宿で 出してくれ た。	坐禅 1日3回 精進料理で はなかった。	坐禅3回 宿舎の調理 人さの食 事	坐禅 朝と 夜の2回 食事は干与 者が作成、 精進にて。	坐禅 朝と夜 寺院開座 典座尊配役 をつとめる。

研修

詩偈と禪 (五)

山は晴通

今回は七言絶句の主な規則を、平仄
図式の原則と、筆者の事例とを並列しな
がら述べることにする。
七言絶句は、起句の第二字目が平字か
仄字かにより、「平起式」と「仄起式」
に分けられる。

(A) 平起式

起句 1 2 3 4 5 6 7
△ ○ ● ● ● ● ● ●
承句 △ ○ ● ● ● ● ● ●
転句 △ ○ ● ● ● ● ● ●
結句 △ ○ ● ● ● ● ● ●

起句 晨鐘端坐仏心伝
承句 古刹観空般若緑
転句 簾外水風秋氣到

結句 児孫擊得少林禪
ある年の初秋の頃に作詩をした。宗門
人であるかぎり、お互いに達磨正伝の仏
法を、的確に相承せんと願うものであ
る。
この詩は次のような平仄図式になっ
ている。

(B) 仄起式

起句 1 2 3 4 5 6 7
● ○ ● ● ● ● ● ●
承句 ● ○ ● ● ● ● ● ●
転句 ● ○ ● ● ● ● ● ●
結句 ● ○ ● ● ● ● ● ●

起句 △ ○ ● ● ● ● ● ●

それでは主な規則を列記する。
(イ) 第二字目を、起承転結と点線に
そって横に見ていくと、平起式なら
は「平仄仄平」仄起式ならば「仄平仄平」
となる。これを「括」という。

起句 △ ○ ● ● ● ● ● ●
承句 △ ○ ● ● ● ● ● ●
転句 △ ○ ● ● ● ● ● ●
結句 △ ○ ● ● ● ● ● ●

お盆の行事も無事に終わった夏の夏
日に、読書をした時の感想である。この
詩の平仄図式は次のようになっている。

起句 ● ○ ● ● ● ● ● ●
承句 ● ○ ● ● ● ● ● ●
転句 ● ○ ● ● ● ● ● ●
結句 ● ○ ● ● ● ● ● ●

(ウ) 起承転結ともに、二字目を中心
にして縦にみると、二字目と四字目は、
必ず平仄が相反して「平仄」を「二四
不同」といふ。反対に、「二字目と六字目
は平仄が同一である。これを「二六対」
という。

起句 ● ○ ● ● ● ● ● ●
承句 ● ○ ● ● ● ● ● ●
転句 ● ○ ● ● ● ● ● ●
結句 ● ○ ● ● ● ● ● ●

(エ) △印に相当する「一字目、三字目
五字目」は、原則として平仄いずれでもよ
い。筆者の作品を参照されたい。

起句 ● ○ ● ● ● ● ● ●
承句 ● ○ ● ● ● ● ● ●
転句 ● ○ ● ● ● ● ● ●
結句 ● ○ ● ● ● ● ● ●

このほかの規則についての詳細は、各
種の作詩関係の書籍によって確認されん
ことを。

起句 ● ○ ● ● ● ● ● ●
承句 ● ○ ● ● ● ● ● ●
転句 ● ○ ● ● ● ● ● ●
結句 ● ○ ● ● ● ● ● ●

さらに現実として、先の三つの最高の
快樂として、求道の心を持つに到つては
シートしてはいても必要条件を満た
すことは出来ない。これ又、やっ
ぱり「食」である。

起句 ● ○ ● ● ● ● ● ●
承句 ● ○ ● ● ● ● ● ●
転句 ● ○ ● ● ● ● ● ●
結句 ● ○ ● ● ● ● ● ●

「食」が生命か、
「職」が時代からか、人間であるが為に、考
えつく業は生活のあらゆるドラマの源と
して、喜びも悲しみも「食」の姿のあら
われと思つたのである。食べると、寝る
こと、排泄すること、生活から無くなれ
ばと思うほど、やっかいに感じる時もつ
ともつとよき求めでは、感じまい努力
を繰り返す。快樂な生活にいい面があ
る。

起句 ● ○ ● ● ● ● ● ●
承句 ● ○ ● ● ● ● ● ●
転句 ● ○ ● ● ● ● ● ●
結句 ● ○ ● ● ● ● ● ●

さらに他人事ではなく、ひとりひとり
の自分事となる訳ですから、本当にやっ
かいなものといえるでしょう。
坐して居ても、立っていても、身に感
ずるところは、腹が膨らむ。眠気はさす。用
便もする。じくく考えれば考えるほど
に、虚ろな眼差しで、本尊様とニラメッ
コ、端正なお姿に、こちらは生身の凡夫
です。すからと、つい本音から溜息をつく
のです。

起句 ● ○ ● ● ● ● ● ●
承句 ● ○ ● ● ● ● ● ●
転句 ● ○ ● ● ● ● ● ●
結句 ● ○ ● ● ● ● ● ●

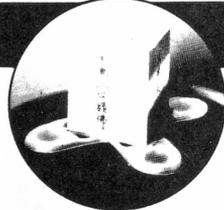
現代は、飽食と飢餓が同居している。
食へ物であつても食べたくない。あり過
ぎる。食へ物がな過ぎる。なくて食へ
れない。

起句 ● ○ ● ● ● ● ● ●
承句 ● ○ ● ● ● ● ● ●
転句 ● ○ ● ● ● ● ● ●
結句 ● ○ ● ● ● ● ● ●

出席を得て三時間にわたり実施されまし
事務局 記



流し燈籠 水に溶け、無毒・無害で汚染なし!!



新しい「水溶性流し燈籠」の登場により
美しい心に残っている風習「燈籠流し」が、
復活いたしました。
1基 980円(1箱25基入り)
数量により指定文字の印刷も承ります。
*本品は限定商品ですので、お早めにお申し込み下さい。

- ◆ 特長 ◆
- 流し燈籠の素材は、すべて水に溶解します。
- 約30分～1時間位水面に浮き、その後3時間程度で完全に溶解します。
- 無毒・無害であり、溶解後も河川を汚染しません。
- 回収の必要がまったくありません。

株式会社 光和
〒251 神奈川県藤沢市辻堂元町2-20-17
TEL. 0466 (33) 6301 (代表)
(36) 4111 (直通)

散步道

仏教伝道文化賞受賞
童話作家 花岡 大先生

「宗教的な暖かさは、やさしさが必要なのです。」

京都・深草にお住いとお聞きし道元禅師を思い浮かべながらお訪ねした。沢山の書籍に囲まれ、机の上は紙筆中の原稿が山積み、いかにも作家の部屋らしいが置いてある書籍はほとんど仏教書。

白髪を掻き上げながらも表情は温和、僧侶の訪問にあつて今の仏教に「若い人は立ち上がらねば」と激励された。この三月には「仏教伝道協会」から文化賞を受けられ、ますます意気軒昂、九十歳まで頑張り、千編の作品を目指すという。

「童話作家を志望されたのはいつごろからですか。」

「もともとは『小説家』希望でした。ところが、大学、龍谷大学、は卒業したものの就職難の時代で、小学校の代用教員になりました。そんな頃、司馬遼太郎君と知りあつて、文学論をたかわずうちに寺内大吉君なども入ってきまして、じ



「童話作家の目から見た現代、特に子どもの世界はいかがですか。」

「現代は児童文学も荒廃状態だと思います。教育には大人も問題があります。今一番売れている児童書は興味迎合し、題名だけで中身がわかりそうな本です。テレビもあつて、読書力が落ちて、ことばはたしかですが、本来、子どもは本が好きなんです。そこにはかない……大人の責任です。」

「情操は宗教である。」

「暴力、いじめ、といったことは情操面が軽視したからですね。情操とは高尚な心です。下品に對して高尚ですから、美しい心、やさしい心、暖かい心になると思います。今の子どもはこの心が育っていない。カサカサになっている。こころに潤いを与えるのが情操。宗教なんです。情操を宗教と考える人は少ないかもしれませんが、宗教的な暖かき、やさしさが今こそ必要なんです。」

「私は一貫して、文学には宗教的精神が必要として取りこんできました。今、私のかつての仏典童話とも呼んでいない作品が小学校の教科書にも載せられるようになってきました。情操という宗教精神が流れているから読まれると思いませんか。」

「仏典童話というのは、私がつけた名前です。仏教説話、童話というのはありませんが、説話は教をわかり易く説くために昔話を用いたのだから、そのままではききわめて説教臭さが残ってしまいます。だから子ども向けに書き直したというだけではだめなん

です。話が心を通り抜けてしまうのです。文学には宗教性が必要なのです。」

「私は、説話と文学に持たないという思想に類みつける力のあるものだと思います。子どもは心は感させることが大切です。感動を魂に吹き込む作業、これが私の今のお仕事です。」

『戒』の厳しさも現代は大切です

「現代の宗教についていかがですか。」

「生きている」ということには「迷つてい」ということではないかと思えます。どうしても離れることのできない「煩惱」に振りまわされて、恥も外聞もなくみじめな敗北の姿をさらけだしている。しかし、容認したくないことです。」

「戒」は果敢な挑戦ですね。私は西本願寺の僧侶もありましたが、この頃、叡山の五体投地の姿の奥に本来の仏教があるように思うことがあります。

の仕事ですね。素材は説話ですが、そのままだでは内容が咀嚼し、自分のものにしてから作品にする。同じ素材でも文学作品に昇華させる。だから、仏典童話でも、根底に仏教精神が流れていることが大切なのです。今のお仕事は。

七つほど連載もありますが、年々回覧の個人雑誌「まゆら」(サンスクリットの孔雀の意)が中心です。発行部数は三〇〇〇部です。熱心に読んでくださる。それに子どもにも「まゆら」を付けた方が五人もいます。あと、現在、七百編ほどの作品を千編書くまでがんばることにですね。

「すかされた地獄へ行くもよき人のおおてなりせばゆるめくやしむ」ですね。心に潤いを与える……宗教家の責務は大きいです。

この方の本のない寺院はないといつてもいいのではなからうか。難解な教義も複雑な比喩もこの人にかれば平易な文章もなつてしまふ。しかし、そこには秘密があつた。文学に對する真摯な態度である。作品は新仏教經典として子どもばかりか大人の心まで感化しはじめている。

「戒」の厳しさも現代は大切です。肉食、妻帯があつたままという風潮ですが、親鸞は泣き泣きそれをしています。その悲しみがわからなければならぬのです。祖師に對する従順も大切です。「愚に還る」といいますが、感情的には善意的で信じて疑わない。「信一念」に徹する。おてなりせばゆるめくやしむ。心に潤いを与える……宗教家の責務は大きいです。



禅を聞く会

講演者募集について

専業・研修委員会

曹洞宗修行が毎年開催しております。禅を聞く会が、多くの聴衆を集め好評を博していることは周知の通りであり、特に昨年は新装なった有楽町マリオンで開かれ、会場を超過員にする活況を呈したことは既報の通りであります。

本年も同じ会場にて、禅を聞く会が開催されますが、この度は宗務庁教化部の特別の配慮により、「青年宗侶」も講演者として登場する機会を与えられました。

この会は管長親下はじめ有名識者が提唱・講話をする格式ある会ですが、是非この機会を捕え、青年宗侶によって禅の魅力を宣揚したいと考えます。

応募は次の通りですので、多数応募下さいませようお願いいたします。

記

- 講演日時 昭和六十一年九月二十九日 午後五時三十分～六時
午後六時からメイ・講師の提唱があります。
- 会場 東京 有楽町マリオンホール
- 人員 宗門青年僧より二名四十五歳以下(応募多数の場合は選考委員会を設けます)
- 講演内容 一、十五分以内
・禅の体験を通して生じた人生感
・禅と共に生きる生活の中からの発想
・青年期における禅の魅力
・現代社会に生かせる禅など、禅の体験を通して、青年僧らしい若さと清
・慈悲・求道の心などを表現する
- 申し込み、問い合わせ 宗務庁教化部全曹青係 TEL (三) 四五四一 四四一五
- その他 講演者には旅費等が支給されます。

青年会活動の問題点①

はじめに

いま全国の仏教各宗派団体はもとに、青年部や青年会が組織され、それぞれの宗旨や教義に基づきながら、独自の活動・特徴ある運営がなされている。青年会ももつて若きエネルギーと行動力は、いずれの宗派にとっても活性化の現動力であり、第一線で教化者であり、その存在感や責任が益々大きくなっているのが現状である。

我々曹洞宗における青年会活動も高い評価を得ながら、宗門の中に明確な位置づけがなされ、更に飛躍の要素を含みつつ伸展し、また曹青の活動内容や規模においては、他の宗派の仏教の道徳を許さぬ自尊心を誰もち合わせていると思ふ。

しかし、自他共に認める曹青の活発な運営の中にあつて、他宗派仏教との交流に閉じている一面がみられ、友好を深めるべきと指摘する声も聞かれる。全国各地に単位曹青が組織された大組

他宗派青年会との交流について

全日本仏教青年会の現状と探る

日仏曹青は、宗派を越えて仏教運動の推進を行なうという団体である。全曹青も結成後より加盟しているが、なぜか馴染が薄く、その名前を知らぬ人さえいる。曹青も自ら知らぬ日仏曹青の足踏と現状を伝え、他宗派との交流に関する問題を提起したいと思ふ。

組織について

曹洞宗青年会において全日本曹青についての認識は、極めて薄いが実態はどうかを感ずる。

団体加入軌道に乗る

名簿作成急ピツチ

昨年度からすすめてきた単位曹青の全曹青団体加入はほぼ趣旨が徹底し、すでに三十団体ほどが手続を終えた。この団体加入は全曹青設立時からの懸案事項といえるが、今日までこの問題が看過されてきたわけではない。時々執行部によって検討されたのであるが、地区曹青には種々の設立要因がある。全曹青発足わずか数年にして地区曹青を傘下に置くような急激な組織改革はいたずらに混乱を招く、との声に執行部は時早称として見送り、全曹青は個人会員による組織とせざるを得なかったのである。

今期の執行部では、「全曹青」の位置付けを定めることにより団体加入を計ることとした。すなわち、曹青は各曹青の連絡協議会的なものとする。

また、曹青の未結成、あるいは暫らかの事情によって地区曹青に加入できない場合及び地域曹青が全曹青に未加入の場合に従来通り個人会員として全曹青加入を受け付けている。積極的な参加を願ひたい。さて、組織の充実には全の活動を強固にするには必須事項である。今回組織編成については各曹青から提出された名簿及び個人会員名簿を元へ役員名簿が作られるようになった。内容は次の通りである。尚、現在未加入の団体であっても名簿の提出は受け付けているので問い合わせられたい。

名簿作成内容
体裁 B5判横書き、百五十頁程度
掲載 会員住所 寺院名 生年月日
電話番号
発行 昭和六十一年一月
部数 六〇〇部

伝達業曹製(事業研修委員会)

今年度の曹青の集い方として松崎師成成師によるガイドブックがすでに会場あてに発送されているので活用いただきたい。

第八回 禅文化学林

丹羽師 御巡錫

スリランカ仏教遺跡研修の旅
この度の禅文化学林はスリランカに研修の場を求め特に丹羽師の二同行も賜り実施いたすことになりました。

スリランカは僧侶中心に仏教が民衆の生活に根を下ろし、初代仏教の純度がよく保たれた平安な地であり、是れ多数参加下さりませようお申し込みします。

時 昭和六十一年一月二十六日より
費用 東京発 二八八、〇〇円
大阪発 二九八、〇〇円
申込 問合せ 宗務庁内全曹青事務局
又は最寄りのBS観光
資料をお送りします。

役員等

前号で全曹青役員を紹介いたしました。したがってこのたびは役員変更等がありましたのでおわかり方加筆訂正願ひます。

記載編
副会長 浅井真澄 (奈良)
事務研究委員 齋藤潤三 (島根)
広報委員 中村見目 (鳥取)
変更等
理事 中国曹青 清宮賢隆 (山口)
近畿曹青 原田文隆 (大阪)
九州曹青 長石俊英 (佐賀)
評議員 愛知三 伊藤寛寛
石神俊龍
静岡四 杉山晴康
変更等ございましたら事務局までお知らせ下さい。



61年度版禅の集い用

